

はま Y O U



「乱れ花火」総務課 森陽香

Vol.
48
2021.夏号

CONTENTS

薬剤師・看護師・理学療法士
介護福祉士・看護補助者(病棟・通所リハビリ)
外来予約担当・外来診療補助
事務員(経理係・一般事務)



募集中



脳神経内科

受付時間/午前8時半～11時半 午後1時半～4時半 診療時間/午前9時～12時 午後2時～5時

担当: なかにし 一郎 医師【予約不要】 月曜午前 火曜午前
いしくち ひろし 石口 宏 医師【予約制】 火曜午後

こぐち けん 小口 健 医師【予約制】 木曜午後
やすい まさあき 安井 昌彰 医師【予約制】 金曜午後

リハビリテーション専門外来

診療日/(予約制)木曜日 午後 受付時間/午後1時半～4時半 診療時間/午後2時～5時

担当: むらい こうた 村井 昂太 医師

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



公益財団法人日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般病棟1・
リハビリテーション病院・慢性期病院)機能種別版機能評価項目3rdG: Ver.2.0

- 理念・基本方針
- 公益目的事業へのご寄附のお願い … 2
- 病院機能評価の認定を受けました … 3
- 新採用医師のご紹介 … 3
- 2021年度財団事業計画 … 4～6
- 2020年度白浜はまゆう病院診療実績 … 7
- 診察室から
～小児科のご紹介～ … 8
- 新型コロナワクチン接種への協力状況 … 8
- 禁煙講演会を開催しました … 9
- 新バス停「マーメイドタウン入口前」が
増設されます … 9
- 骨リウマチ疾患探索研究所
賛助会員制度のご案内 … 10
- 職員募集のご案内 … 10
- 管理栄養士のおすすめレシピ … 11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表



敷地内
全面 **禁煙**

NO SMOKING

理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にされた医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

あみだ
いっしょ
みんなで
つづけて
いこう



公益目的事業へのご寄附のお願い

当法人の公益目的事業にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。皆様からの寄附金は、公益目的事業遂行のために有効に使用させていただきます。

事業目的

当法人は、白浜町及びその周辺地域の公衆衛生の向上と地域医療に関する事業を行い、もって地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。

事業内容(公益目的事業)

当法人は、国立病院等の再編成計画により廃止された元国立白浜温泉病院施設を、医療施設として再利用してほしいという地域住民の願いを実現するため、白浜町はじめ民間団体等の参画により開設された法人です。

現在白浜はまゆう病院、診療所、訪問看護ステーション、骨リウマチ疾患探索研究所を運営し、予防から治療、リハビリテーション、看取りまでの医療・ケアを提供し、地域医療の向上や地域住民、観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与する事業を行っています。

- | | |
|---|----------------------------------|
| (1) 地域医療を主体とする病院の管理運営 | (6) 生活習慣病予防の健康診断及び健康増進並びにがん検診事業 |
| (2) 救急医療の実施 | (7) 無医地区及びへき地等における在宅療養支援診療所の管理運営 |
| (3) 介護保険法による介護医療院の運営並びに居宅介護支援事業及び指定居宅サービス事業等の実施 | (8) 訪問看護ステーションの管理運営 |
| (4) 開放型病院による登録医への共同利用施設としての医療機器及び病床の提供 | (9) 医療・保健・福祉に関する調査研究並びに普及啓発 |
| (5) 温泉を活用したリハビリテーションの推進 | (10) 高齢者・障害者等の医療とケアに関する調査研究 |
| | (11) その他、この法人の目的を達成するための事業 |

税制上の優遇措置

当法人への寄附金には、特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除を受けることができます。(詳細は白浜はまゆう病院ホームページをご覧ください。)

寄附金の申込

白浜はまゆう病院ホームページに掲載しております寄附金申込書に必要事項をご記入の上、下記まで郵送・ファックスしてください。もしくは、下記までご連絡をお願い致します。

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地 白浜はまゆう病院内
公益財団法人白浜医療福祉財団 法人事務局
TEL 0739-43-6200 / FAX 0739-43-7891

病院機能評価を受審し認定されました \ (^o^) /

2021年2月26日金曜日から翌27日土曜日の2日間にわたり日本医療機能評価機構による病院機能評価訪問審査が行われました。そして2021年6月4日付で「認定」の結果を得ることができました。

2016年に受審し認定された経験を活かし、受審の1年以上前から多職種によるプロジェクトチームが結成されました。受審のために綿密に計画を練り、各部署・部門と忍耐強く協議を重ね、何度もシミュレーションが行われ受審当日を迎えました。受審当日は、病院内のすべての領域に踏み込み微に入り細をうがつような質問がありましたが、これに対して緊張の中にも各職員が自信を持って答えていたのが印象的でした。

この受審は、言い換えればわたしたちの病院でいまやっていることが正しいかどうか、つまり全国レベルでスタンダードであるかどうかを確認される行事であったと考えています。つまりこの認定によって、わたしたちの病院の進んでいる方向は間違っていないことが証明されたとも言えます。5年毎に受審するというのは、病院医療において時代の流れについていけているかどうかを第三者に判断してもらう、という意味でもあります。

認定された大きな要因は、わたしたちの病院が常に外からの新しい知識や手法が入る環境にあること、そして病院職員が自分たちで外からの情報を仕入れることで、職場に新しい息吹を注いでいることだと思います。職員のみなさんが日々取り組んで頂いていることが、また当たり前だと思いやっていることがこのような評価を受けたことに対して、大変誇らしく思います。深く感謝いたします。

審査期間中に指摘を受けたことには対策を考え実行・実現して頂きますが、平素の仕事を含めて皆さんの行うことはすべては患者さんのためであり、患者さんのために垣根を越えて職員が協力しあう姿を見てみたいと切に願います。

病院長 辻本 登志英

新採用医師のご紹介



むらい こうた
村井 昂太 医師 | リハビリテーション科

2021年7月より赴任いたしましたリハビリテーション科の村井昂太と申します。和歌山県立医科大学で卒業後は、同附属病院で研修、リハビリテーション科医として勤務しておりました。近年の医学の発展により、昔では助からなかった命でも助けられるようになり、平均寿命も延びてきました。しかし、今度は病気や怪我、加齢に伴い生じる障害を抱えた状態でどう生活していくかが問題となってきます。リハビリテーション科は、様々な疾患により生じた機能障害を回復し、残存した障害を克服しながら「活動を育む」お手伝いをさせてもらう科になります。

まだまだ新しい科の部類にはいると思いますので、馴染みのない科と感じる方も多いと思いますが、地域の皆様の健康に貢献していければと考えています。何卒よろしく願います。



なかみち なおすけ
中道 脩介 医師 | 消化器外科

2021年8月から4ヶ月間、はまゆう病院で勤務させていただきます、外科の中道脩介と申します。2017年に京都府立医科大学を卒業後、4年間滋賀県で勤務しておりました。今回ご縁があり白浜で勤務させていただくこととなりました。怪我や打撲、虫刺されなどでお困りの際は気軽に御相談いただくと幸いです。地域に根ざした医療を目指していこうと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人白浜医療福祉財団

2021年度の主な事業計画

公益財団法人白浜医療福祉財団は、1993年2月に設立されて以来28年、1994年2月の白浜はまゆう病院開院後、病院を中核事業として診療所、訪問看護ステーション、通所リハビリテーションセンターを運営し、法人の設置目的である地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に努めてきました。

私たち職員一人ひとりが公益法人職員であることの意識と自覚を持って、理念と基本方針に基づき、地域医療を担う専門的知識を有する医療人として、施設や職種を超えて連携と協力を強め顔の見える関係づくりを行い、健康と福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

1 法人事業計画

- (1)「理念」「基本方針」の実践
- (2)運営基盤の整備、財政基盤の強化
- (3)人材確保及び研究・教育研修活動
- (4)広報・啓発の強化
- (5)医療・保健・福祉連携の推進

2 白浜はまゆう病院

- (1)医療人材の確保と育成
 - ①看護師を始めとした確保困難な専門技術職の募集・採用
 - ②教育・研修を通じた人材育成、リーダー・監督職の人材育成
- (2)働き方改革への取り組み・適正な労務管理による職員の働きやすい職場づくり
働き方改革関連法施行に伴い、人事・労務の適正な管理を徹底する。
- (3)医療情報システムの更新
2021年9月にシステムの更新を行なう。医療の効率化や標準化、医療安全への寄与をはじめ、職員の業務負担軽減についても配慮したシステム構築を目指す。
- (4)病院機能評価受審後の継続的な業務改善活動の推進
各評価項目に対する定期的な評価や改善活動への取り組みを推進する。
- (5)診療報酬、介護報酬改定への対応
2022年度診療報酬改定の情報収集を行い、既存施設基準の維持と新たな施設基準の取得を検討する。
- (6)地域医療構想に対する取り組み
和歌山県地域医療構想調整会議において2025年に向けて病床数を2/3に縮小する方向性が示されている。リハビリテーション、脳神経内科、リウマチ治療など必要とされている医療を提供し、当院が担う役割が果たせるよう取り組みを進める。
- (7)主要診療機能・検査体制の拡充
あらゆる方策を駆使して医師・看護師・専門技術職の確保に努める。
- (8)医療安全対策、院内感染対策の充実
医療安全管理室ならびに感染対策委員会を中心に病院組織をあげて取り組みを推進する。
- (9)救急医療体制の再構築、へき地医療支援の継続、在宅ケアの推進
 - ①救急病院として365日、24時間対応で地域住民及び観光客の救急要請に応えていく。
 - ②院内各部門が一体となり、地域の他機関と連携して在宅ケアの充実を図る。
- (10)財団内施設間の連携の強化と多職種にわたるチーム医療の推進
医療情報システムのネットワークの有効活用を推進、診療情報の共有による一貫した医療を提供し、地域住民が安心して受診できる医療環境の構築を目指す。
- (11)災害に強い病院づくり
災害支援病院として災害時に強い病院づくりを推進し、当院DMAT(災害派遣医療チーム)を核にした災害医療体制の強化を行うとともにBCP(事業継続計画)を整備する。

3 西富田クリニック

- (1) 外来診療機能の充実・安定を図り、患者数の確保に努める。
- (2) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所との協力連携を更に深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図る。
休日・夜間の患者様からの問い合わせに対応し、白浜はまゆう病院への連携を図る。2015年4月からスタートした白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努める。
- (3) 食事・栄養指導、各種健診の実施に向けた体制を作る。
- (4) 財団関係施設との有機的な運営に努める。
- (5) 患者動向や医療・介護診療報酬改定の状況変化を解析し、診療所運営に反映させながら経営の安定に努める。
- (6) 画像遠隔診断等のITを推進する。

4 鮎川診療所

- (1) 外来診療機能を充実し、患者数の確保に努める。
白浜はまゆう病院との更なる連携を図り、患者様が安心できる診療所運営を目指す。
内科・泌尿器科・整形外科診療の充実・安定を図る。
- (2) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所との協力連携を更に深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図る。
白浜はまゆう病院との連携により、休日・夜間の患者様からの問い合わせに対応する。
白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努める。
- (3) 地域に密着し、地域の方々に広く利用していただける診療所運営に努める。
- (4) 通院困難者等への送迎サービスの提供により利便性を高め患者満足度及び受診率の向上を図る。
- (5) 在宅医療の一環として訪問診療を行うなど、地域に密着した運営を行う。
- (6) 地域の保健・福祉・介護事業所・学校等と連携し、医療面での支援・協力を行う。
- (7) 検査チャトル便の利用等を通じ、白浜はまゆう病院の診療機能を活用するとともに、財団関係診療所との一体的な運用に努める。
- (8) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断の向上に努める。
- (9) 保険診療において、査定・返戻等を検討し、経営の健全化を図る。
- (10) 特定健診を実施する。
- (11) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安定維持に努める。

5 日置診療所

- (1) 外来診療機能を充実し、患者数の確保に努める。診療科:内科、泌尿器科
- (2) 特定健診を実施する。
- (3) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所との協力連携を更に深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図る。
白浜はまゆう病院との連携により、休日・夜間の患者様からの問い合わせに対応する。
白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステム構築に努める。
- (4) 白浜町指定管理者制度の趣旨を踏まえ、地域の保健・福祉・介護事業所・学校等と連携し、医療面での支援・協力を行う。
- (5) 通院困難者等への送迎サービスの提供により利便性を高め患者満足度及び受診率の向上を図る。
- (6) 検査チャトル便の利用等を通じ、白浜はまゆう病院の診療機能を活用する。
- (7) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断の向上に努める。
- (8) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安定維持に努める。
- (9) 新型コロナウイルス感染予防対策、院内での感染拡大防止対策を実施する。

6 三舞診療所

- (1) 白浜町指定管理者制度の趣旨を踏まえ診療所における保健医療を充足し、地域住民の健康増進に寄与する。
- (2) 外来診療、週2回を継続する。診療科:内科 診療日:月・金曜日
- (3) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断の向上に努める。
- (4) 診療報酬改定の内容の検証、分析をして的確な判断と対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安全維持に努める。

7 川添診療所

- (1) 外来診療日数は、週3日を継続し、休診日は白浜はまゆう病院や財団関連診療所のご案内をして患者様の不安を軽減するよう努める。診療日:月・水・金 診療科:内科
- (2) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所との協力連携を更に深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図る。
白浜はまゆう病院との連携により、休日・夜間の患者様からの問い合わせに対応する。
白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努める。
- (3) 白浜町指定管理者制度の趣旨を踏まえ、地域の保健・福祉・介護事業所等と連携し、医療面での支援・協力をを行う。
- (4) 送迎自動車を運行し、通院困難な患者様へのサービス提供を行う。
- (5) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断の向上に努める。
- (6) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安定維持に努める。

8 訪問看護ステーションたんぼぼ

- (1) 積極的な営業活動を推進し、利用者の拡大に努め経営の向上安定を図る。
- (2) 居宅サービス事業者として、他の事業者とのチームワークを大切にして、サービスの質の向上と円滑な提供に努める。
- (3) 業務改善を図り、訪問事業の円滑な運営を行う。訪問看護、訪問リハビリを効率的に行う。
- (4) 利用者数に見合った職員数を確保し、事故防止に努め、利用者が安心してサービスが受けられるようにする。
- (5) 研修に積極的に参加し、職員の資質の向上を図り、質の高い看護・リハビリを提供し、利用者との信頼関係を深める。
- (6) 財団関係施設及び白浜医療・保健・福祉総合センター内施設間の連携に努め、在宅ケアを推進する。白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努める。
- (7) 利用者の増加、訪問ニーズに対応するため、土曜日1日勤務を1.5名～2名で対応する。
- (8) 看護学生の実習受入を継続し、人材確保に向けた取り組みに繋げていく。
- (9) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い訪問看護事業運営に反映させながら経営の安定維持に努める。

9 骨リウマチ疾患探索研究所

- (1) 関節リウマチおよび骨粗鬆症に関する市販後薬を対象とした臨床研究を行う。大阪市立大学大学院医学研究科整形外科を主体として行われてきた臨床研究をサポートする。
- (2) 関節リウマチに係るTOMORROW研究を継続する。
- (3) 2014年に立ち上げたWaRAネット(関節リウマチ啓蒙講演会)を2022年に串本地区で開催予定。新型コロナウイルスのため現在休止中。
- (4) 関節リウマチ患者のコロナワクチンに関して、患者アンケートおよび抗体産出に関する調査を行う。

10 通所リハビリテーションセンター

- (1) 理学療法士、作業療法士等が利用者一人ひとりに適したリハビリテーションを提供し、日常生活における活動支援や社会参加の獲得を目指した個別指導やトレーニング等を行う。
- (2) リハビリニーズの高い利用者に他のサービス事業所の中から第一に選ばれる施設を目指し、サービスの質の向上と利用者の確保に取り組むとともに、収支の安定を図る。
- (3) 指定居宅サービス事業者として、他の事業者と連携して、サービスの質的向上と円滑な事業提供に努める。
- (4) 常に日常業務全般を見直し、通所リハビリテーション事業の効率的な運営を行う。
- (5) 利用者数に見合った職員数を確保し、事故防止に努め、利用者が安心してサービスが受けられるよう工夫する。
- (6) 研修に積極的に参加し、職員の資質の向上を図り、質の高い通所リハビリテーションを提供し、利用者との信頼関係を深める。
- (7) 財団関係施設及び事業所間の連携に努め、在宅ケアを推進する。

2020年度診療実績

白浜はまゆう病院

《クリニカルインディケータ》

クリニカルインディケータとは？

医療の質を定量的に評価することで、医療の質を客観的に測ることのできる【ものさし】にあたります。

当院でもいくつかのクリニカルインディケータを設定して、医療水準や質の面での改善課題や引き上げ目標を明確にして取り組んでいます。

		2018年度	2019年度	2020年度	
患者数	外来延数	77,622人	75,473人	71,044人	
	外来1日平均	266人	260人	242人	
	入院延数	86,323人	82,370人	76,364人	
	入院1日平均	237人	225人	210人	
平均在院日数	一般病棟	15.8日	14.8日	14.4日	
	回復期リハビリ病棟	66.5日	71.3日	82.3日	
	医療療養病棟	204.0日	185.7日	59.0日	
	地域包括ケア病棟	31.3日	24.3日	26.2日	
	介護療養病棟	130.2日	98.6日	-	
	介護医療院	-	-	119.6日	
病床利用率	一般	本館 4階	88.8%	88.4%	82.2%
		本館 5階	86.4%	84.5%	80.5%
	回復期リハ	南館 3階	87.0%	86.6%	74.9%
	医療療養	南館 5階	91.7%	89.8%	66.6%
	地域包括ケア	本館 3階	83.6%	72.3%	73.0%
	介護療養病棟		97.4%	83.8%	-
	介護医療院	-	-	95.9%	
救急搬入患者	救急搬入患者	搬送患者数	1,064人	1,071人	992人
		救急応需率	95.5%	92.6%	94.5%
退院患者	死亡退院患者率		9.6%	8.3%	8.5%
	退院後30日以内の予定外再入院率		4.4%	3.7%	3.6%
	退院後30日以内の救急医療再入院率		0.2%	0.6%	1.2%

《各診療科の主な手術》

	手術名	件数
整形外科	骨折観血的手術	61
	人工関節置換術	58
	人工骨頭挿入術	19
	観血的関節固定術	7
	観血的整復固定術	5

	手術名	件数
外科	腹腔鏡下胆嚢摘出術	24
	ヘルニア修復術	18
	結腸・直腸悪性腫瘍手術	14
	腸閉塞手術	7
	胃悪性腫瘍手術	6

	手術名	件数
泌尿器科	前立腺生検術(検査)	19
	膀胱悪性腫瘍手術	11
	経尿道的尿管ステント留置術	3
	腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術	2
	経尿道的尿路結石除去術	2

	手術名	件数
乳腺外科	乳腺悪性腫瘍手術	54
	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	6
	乳腺腫瘍摘出術	2

	手術名	件数
内科	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	70
	内視鏡的胆道ステント留置術	27
	内視鏡的乳頭切開術	10
	胃瘻造設術	8
	内視鏡的胆道結石除去術	8

診察室からのお話



～小児科のご紹介～

私のはまゆう病院に赴任してもうすぐ15年が過ぎようとしています。小学1年生だった長男、幼稚園児だった長女が高校を卒業し、3番目の子が高校生に、こちらに来てしばらくしてから生まれた4番目の子が中学生になりました。外来をしている、患者さんはどんどん成長し、小さく生まれた赤ちゃん、病気がちだった子供たちが元気に大きくなり元気に学校へ行っているのを見て、とてもうれしく思います。私はというと、自分の年齢による衰えを自覚しつつも目を背けて、まだまだやるぞという気持ちを持って頑張っている次第です。

こういった日常でいつも思うのが、子供達の持つ力のすごさです。どんなに疲れていても、診察に出れば子供の笑顔や笑い声で、自分もとてもパワーをもらえます。何よりも患者さんのため、と思って医師になったにも関わらず、実際は患者さんに元気にしてもらっているわけです。年を重ねるとますますこういう思いが強くなってきました。また、病気を治してあげたい、少しでも楽にしてあげたいという思いで診察をしていますが、実際は子供たちが自分で治るのを少しだけ手助けしてあげているにすぎないなあとも感じます。だからと言って手抜きをしているわけではありませんが(笑)、我々のできるということのは本当に限られるなあというのを最近特に感じます。

近年コロナウイルスによる影響で、運動会や文化祭、クラブの大会といったイベントが大変に制限され、いまままで当たり前のように子供たちが経験できていたことが非常に少なくなっています。しかしそういった環境にも適応し、また自分たちにできることを考えるとといったことも重要だと思えます。そういう意味ではこれも貴重な経験かなと思うのです。

まだまだ先の見えない状況ですが、待ちに待った子供たちのワクチン接種も始まりました。ワクチンの効果や副反応に不透明な点はまだありますが、現時点では最善の手だと思えます。私たち小児科医としても今できることを行いつつ、子供たちの笑顔に元気をもらいながら、その未来を守るべく最善を尽くしたいと思っています。



小児科
古久保 和洋 院長

新型コロナワクチン接種への協力状況

事務部 榎本 典生

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、国が推し進めている高齢者を対象としたワクチン接種が白浜町においても4月29日からスタートしました。

当院からも医師、看護師、薬剤師が、また近隣の開業医の先生方や看護師、役場職員、関係団体の方々が力を合わせ国が目標としている期間内に接種ができるよう取り組みを行っています。65歳以上の高齢者でワクチンを希望する方々への接種は7月末でほぼ終了することができ、基礎疾患を有する方、介護施設等で従事する方、教職員、保育士の方への接種へと移行して行き、8月に入ると65歳未満の方への接種と段階的に年齢を下げての接種を行う計画となっています。また、12歳～15歳の小児を対象としたワクチン接種も8月中での接種を目指しております。



住民接種とは別に職域接種への協力も行っており、白浜温泉旅館協同組合、南紀白浜観光協会、白浜町商工会が主体となり観光事業に関わる方々に対するワクチン接種を7月から実施しています。住民接種と合わせ、9月中にはほぼ希望される方々への接種ができるよう病院をはじめクリニック、診療所が力を合わせできる限りの協力を行っていきたいと考えております。

禁煙講演会を開催しました

総務課 志波 恵太



2021年5月25日(火) 17時より本館地階会議室で職員を対象に禁煙講演会を開催しました。

講師は、竹井陽川添診療所長(JASCS日本禁煙科学会 禁煙支援士認定)で、『禁煙のススメ 特に新入職員のみなさんへ』というテーマで講演していただきました。

職員37名が受講、アンケート提出者34名のうち現在喫煙している方は5名、非喫煙者は29名という内訳でした。

アンケート集計結果より、「竹井先生が実話をもとに丁寧に説明され説得力があり、納得して聴くことができた。」「タバコの怖さやデメリット、害について学ぶことができた。」「禁煙することの大切さについて改めて知ることができた。」

また、特に印象に残った点として「電子タバコやIQOSの方が紙巻きたばこよりもっと体に悪いことを知った。」「禁煙外来の治療について最新の情報を聞いたので、自分も知識を高め喫煙者への指導等に活用していきたいです。」との感想が寄せられました。

「今回の講演を聞いて、たばこを止めた方がいいと思いましたか。」との質問に対して、現在喫煙中の5名の受講生全員が「タバコを止めた方がいいと思った」と回答していました。

ひと踏ん張りして、禁煙に成功してみませんか。止めようと思った今がチャンス!!!です。

新バス停「マーメイドタウン入口前」が増設されます

白浜はまゆう病院と西富田クリニックを結ぶシャトルバスは午前5便、午後2便の運行を無料で行っておりますが、2021年9月6日より白浜駅と細野バス停の間に新しいバス停「マーメイドタウン入口前」を増設いたします。

このバス停は現行のシャトルバス路線上に設置されますので各バス停の発車時刻は変更ありません。

通院の際はどうぞご利用ください。



運行日 月～金曜日

※土・日・祝日・年末年始は運休します。

白浜はまゆう病院・西富田クリニック
ご利用の方のみ乗車できます。

路線系統図



公益財団法人白浜医療福祉財団

骨リウマチ疾患探索研究所

(Search Institute for Bone and Arthritis Disease)

SINBAD

賛助会員制度のご案内

骨リウマチ疾患探索研究所では、賛助会員を募集しています。

関節リウマチや骨粗しょう症の治療薬の市販後の臨床研究を行い、海外で実施された臨床研究の結果が、日本人に対しても効果を発揮しうるかどうかなど、独自のコホート研究を行うことを目的とします。
ご賛同いただける方や企業様のご入会をお待ちしております。

● 賛助会員の特典

(個人会員・団体会員) 年1回骨リウマチ疾患探索研究所の報告書をお送りします。

(団体会員) 小池所長と面談(直接またはWeb)することができます。

● 賛助会員の種別・会費

種別	会費
個人会員	年額1口 10,000円
団体会員	年額1口 150,000円

ご加入いただける場合は、以下までお申込みいただけますようよろしくお願い申し上げます。

※ 問い合わせ先

和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地 白浜はまゆう病院内
公益財団法人白浜医療福祉財団 骨リウマチ疾患探索研究所
TEL 0739-43-6200

職員募集



採用時期/随時 試験日は追って連絡します

- 看護師(正職員・パート) 病棟・外来・診療所 …… 若干名
- 介護福祉士・看護補助者(嘱託職員) …… 若干名
- ナースエイド(パート) 外来予約担当 …… 1名 外来診療補助 …… 3名
- 薬剤師(正職員) …… 1名
- 理学療法士(正職員) …… 1名
- 通所リハビリテーションセンター看護補助者(パート) …… 1名
- 経理事務員(正職員) 経理事務経験のある方優遇します …… 1名

◇ 単身者用住宅あり
(薬剤師・看護師)

◇ 経験者優遇します

※ 詳細は、ハローワーク
田辺もしくは下記まで
お問い合わせください。

- 一般事務員(正職員) …… 1名 ● 採用時期/2022年4月1日予定 ● 受験資格/高卒以上の学歴を有する方
● 応募受付期間/2021年9月30日(木)まで ● 試験等の内容/第1次試験 筆記試験、事務適正検査

応募方法/履歴書、職務経歴書(職歴をお持ちの方)を送付して下さい。

お問い合わせ先

公益財団法人
白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 総務課

TEL.0739-43-6200

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447
URL: <http://www.hamayu-hp.or.jp/>



一週間の バランス献立



食養科

古井 啓詞

管理栄養士が伝えたい日々の食事のポイントについてご紹介いたします。

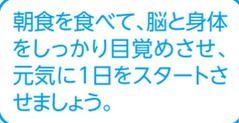
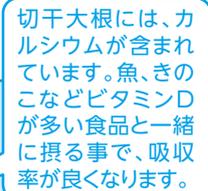
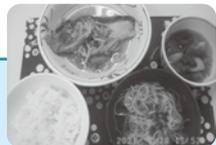
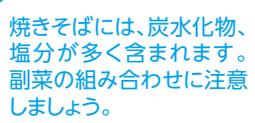
食事の基本は主食・主菜・副菜をバランス良く組み合わせることです。

1週間を目安に色んな食材で、調理法・味つけ等を工夫しながら食事を楽しんでみてください。

組み合わせることで様々な種類の栄養素を摂ることができます。

栄養素の豆知識 脂質について

- ・体の中で1gあたり9kcalとたんぱく質4kcalや炭水化物4kcalの約2倍のエネルギーとなります。
- ・細胞膜やホルモンの構成成分。
- ・脂溶性ビタミン(ビタミンA、D、E)の吸収を助けたり、体温の保持、内臓の保護をする役割もあります。

	朝	昼	夕
日	米飯・味付海苔・だし巻き卵 味噌汁・牛乳 	米飯・サワラのムニエル・かぼちゃ含め煮 大根梅肉和え 果物 	米飯・鶏肉のマヨネーズ焼き 揚げ出し豆腐 いんげんくるみ和え・漬物
月	ロールパン・はちみつ ハムサラダ・牛乳・果物	米飯・鮭の南蛮漬 漬物・切干大根炒め煮・カニサラダ	米飯・麻婆豆腐・漬物 ミニそうめん・里芋煮物 
火	米飯・ふりかけ・じゃがいも土佐煮 味噌汁・牛乳 	米飯・サワラの山椒焼き 春雨酢の物・豆腐田楽・漬物 	米飯・筑前煮 茶碗蒸し 海藻サラダ・果物
水	ロールパン・ジャム オムレツ・牛乳・果物	米飯 和風ハンバーグ 水晶豆腐・小松菜わさび和え・果物	米飯・鮭のちゃんちゃん焼き かぼちゃサラダ 大根の青しそ和え・漬物
木	米飯・ふりかけ 白菜の胡麻醤油和え 味噌汁・牛乳	米飯・鯖の七味焼き ピーマンじゃこ炒め キャベツの中華風和え物・果物	米飯・棒々鶏 漬物・じゃが芋あんかけ 冷奴 
金	米飯・味付海苔・味噌汁 お麩の卵とじ 牛乳 	米飯・鰹の塩焼き・卵の花 青しそサラダ・漬物 	米飯・八宝菜 エリンギのバジル炒め マカロニサラダ・フルーツ寒天
土	ロールパン・ジャム 野菜スープ・果物・牛乳	焼きそば 茄子華風煮・小松菜からし和え・果物	米飯・エビ玉 豚汁 きゅうり香り漬け・漬物

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	内科1(初診)	午前	辻本 登志英	加藤 寛正	岡 宏保	竹井 陽	中西 一郎	高村 竜一郎
		午後						
	内科2(再診)	午前	岡 宏保	伊藤 揚荘		松尾 晃次	辻本 登志英	
		午後	中村 信男		松尾 晃次	岡 宏保		
	内科3(再診)	午前		辻本 登志英	中村信(第1・3・5)		加藤 寛正	
		午後		渡辺(第1)	中村信男	山崎 幸茂 (診察は内科1使用)	加藤 寛正	
	内科4(再診)	午前		松本 潤	竹井 陽	谷口 友志		
		午後	松本 潤	木下 正博	山下 泰伸	竹井 陽		
	内科5(再診)	午前			谷口 友志	伊藤 揚荘		
		午後	國部(禁煙外来)		谷口 友志	松本 潤	谷口 友志	
外科/消化器外科	午前	荒居/山里	山里 有三	荒居 琢磨 (外科/腫瘍ヘルニア外来)	山里 有三	中道 脩介	当番医	
整形外科1(予約)	午前	永田 浩之		小池 達也		岩切 健太郎		
整形外科2	午前	橋村 剛	橋村 剛	橋村 剛	永田 浩之	永田 浩之		
リウマチ専門外来(予約)	午前		小池 達也		小池 達也			
装具外来	午前		装具外来		装具外来			
小児科	午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	
	午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋		
婦人科	午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也				
	午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也		
乳腺外科	午前	粉川 庸三	粉川 庸三		粉川 (予約)	粉川 (予約外10:30まで)		
脳神経内科(予約)	午前	中西 一郎	中西 一郎					
	午後		石口 宏		小口 健	安井 昌彰		
泌尿器科	午前	木村 泰典	木村 泰典	川嶋 秀紀	木村 泰典	木村 泰典	当番医	
	午後	川嶋 秀紀		木村 泰典				
泌尿器科(専門外来)	午後		川嶋 秀紀 (泌尿器科相談外来)			川嶋 秀紀 (神経因性膀胱女性泌尿器科)		
皮膚科	午前						県立医大	
	午後		県立医大					
眼科	午後			担当医		担当医		
耳鼻咽喉科(予約)	午後				県立医大			
脳神経外科	午前				尾崎 充宣			
	午後				中北(予約)			
循環器外来(予約)	午前	岡 宏保		中村信(第1・3・5)				
	午後	中村 信男	渡辺(第1)	中村 信男	岡 宏保			
呼吸器外来(予約)	午前				松尾 晃次			
	午後			松尾 晃次				
消化器専門外来	午前		加藤 寛正	谷口 友志	谷口 友志	加藤 寛正		
	午後			谷口/山下		谷口/加藤		
循環器・高血圧専門外来(予約)	午前						担当医(月2回)	
膠原病・糖尿病専門外来(予約)	午前		伊藤 揚荘		伊藤 揚荘			
リハビリテーション専門外来(予約)	午後				村井 昂太			
通院リハビリテーション外来	午前	谷口 友志	村井 昂太	担当医	村井 昂太	岡 宏保		
	午後	岡/國部	谷口/岡	谷口 友志	國部 久也	岡/松尾		

2021.8.1~

※火曜日午後 内科3診/循環器外来...第1(渡辺) ※水・金曜日午後 眼科...予約外は先着5名までとさせていただきます。
 ※月・火曜日午前 脳神経内科 中西一郎(予約不要) ※診療担当医が変更になる場合がございます。ご了承下さい。

受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月~土)	8:30~11:30	9:00~12:00
午後(月~金)	13:30~16:30	14:00~17:00
循環器外来(月第2・4水)	(予約制)	14:30~17:00
循環器外来第1・3・5(水)	(予約制)	9:00~11:30
循環器外来(火)	(予約制)	14:00~16:30
皮膚科(火)	13:30~15:45	13:30~16:00
眼科(水)	13:30~15:30	14:00~16:30
耳鼻咽喉科(木)	14:00~16:30	14:30~17:00
リハビリテーション専門外来(木)	(予約制)	14:00~17:00
循環器・高血圧専門外来(土)	(予約制)	9:00~12:00

※診療時間外(夜間・休日)に具合が悪くなったときは、日時に関係なく受付しますので、白浜はまゆう病院へ電話でご連絡ください。



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院長 辻本 登志英

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】info@hamayu-hp.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西 富 田 ク リ ニ ッ ク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地	TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678
■鮎 川 診 療 所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3	TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005
■日 置 診 療 所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1	TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192
■三 舞 診 療 所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地	TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001
■川 添 診 療 所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地	TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037
■訪問看護ステーションたんぽぽ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682
■通所リハビリテーションセンター	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)8190 FAX.0739(43)8189